

百合丘小学校 出前授業

学校の希望で、同日同時間の3時限目で省エネグループの2テーマ（地球温暖化、はっぱはえらい）、他の2グループの計4テーマで出前授業を実施することに成りました。その為に、省エネグループはメンバーを2グループに分けて理科室（はっぱはえらい）、家庭科室（節電）を使って授業を行いました。その状況は下記の通りです。

1. 対象：5年生
2. 実施日：2020年12月2日（水） 3時限

①節電にみんなで取り組もう

3. 授業の内容

講義：「節電にみんなで取り組もう」

体験：①手回し発電体験

- ・豆電球の数と発電の負荷の違いを感じる・・・節電の大切さを知る
- ・実際の電球の種類の発電の負荷の違いを感じる

②電球の種類によるCO₂の排出量、電気代の測定、電球の熱さの違い体験

③風力発電の発電体験

④火力発電の模型を動かし、電気を使うと何故CO₂を排出することになるかを知る

4. 授業の様子

子ども達は、熱心に講義に聞き入っていました。その中で子ども達に各家電製品ごとの節電の仕方を上げてもらいながら授業を進めました。特に体験では、子ども達の皆さんに喜んでいただけたようでした。これを機会に、日常の節電への行動に繋げてくれることを期待して授業を終えました。



授業の様子



体験の様子

②はっぱはえらい

当日は、朝から雨が降りそうな天気です。予報では40%の確率の為に、校庭での体験が危ぶまれましたが、何とか雨に降られず授業を終えることが出来ました。帰路につく頃に雨が降ってきたが、授業が出来たことが良かったです。

3. 授業の内容

講義：「はっぱはえらい — 地球温暖化と木（森）の働くについて」

体験：①校庭の木の太さの測定

②日当たりと木陰の温・湿度の測定

③はっぱに被せたポリエチレン袋の中を観察

④選んだ木の種類、太さからCO₂の吸収量を算出する

⑤算出した CO₂ の量は、家電・自動車など何台分が排出する CO₂ 量を吸収しているかを算出することから、木の働きを知る

⑥温暖化模型での CO₂ の有無で温度の違いを体験・・・CO₂ の排出量を減らすことの大切さを知る

4. 授業の様子

子ども達は、初めて知る「はっぱ」の働きに興味を抱きながら講義に聞き入っていました。その後に校庭に出て選んだ木の幹の太さの測定を体験したりして楽しみながら、はっぱの働きを確認しはっぱが地球温暖化防止に貢献していること、植物が大切であることを学んでもらいました。

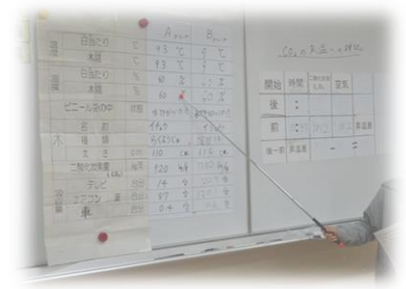
また、温暖化模型で少しの CO₂ 量で実際に温度を上げる効果があることを体験し、CO₂ の排出量を抑えることの重要性、植物を大切にすることを学んでくれました。



授業の様子



木の太さ測定



観察したことの発表の様子